

1. 科目名（単位数）	多文化理解入門（2 単位）	3. 科目番号	GELA1335
2. 授業担当教員	加藤 由香子		
4. 授業形態	講義、ペアワーク、グループ学習、グループ発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	現代はグローバル化の影響で以前にもまして人やモノが国境を越え移動するようになり、文化背景が異なる他者が日常の中で身近に存在している。その一方、文化を共有している人々の間では常識であることも、文化背景が異なると相手は自分と同じ考え方をするとは限らないし、自分とは異なった行動をすることもある。そのような文化の違いにより誤解などが生じることもあるため、「文化」の影響について知ることとは多文化共生のために特に大切である。 本講義では異なった文化背景を持つ様々な他者の理解を深めると共に、自文化、つまりは自分について理解することも目的とする。自分とは異なる文化背景を持つ他者に向かい合うことで、自分と自分が属する文化への理解を深めていく。また多文化理解を促進する態度や技能を個人ワーク、ペアワーク、グループディスカッションを通し身につけていく。		
8. 学習目標	1. 「文化」という概念についての理解を具体例を通し、説明できるようになる。 2. 自分とは異なった背景を持つ他者について理解できるようになる。 3. 自分自身の「文化」的背景への気づきを高め、「文化」がもたらす影響を意識できるようになる。 4. 多文化理解を促進する態度や技能を身につける。 5. 多文化共生社会の実現のために自分ができるところを自分なりに考え意見をいえる。		
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	1. 各回の事前学習と事後学習を参照し、予習と復習をする。 2. 第13回14回で行う多文化共生に関する個人発表の内容をレポートとしてまとめ、第15回講義前日までに提出する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 指定しない。資料は事前に配付する。 【参考書】 原沢 伊都夫著『異文化理解入門』研究社、2013。 倉八 順子著『対話で育む多文化共生入門』明石書店、2016。 その他は、講義内で適宜紹介する。		
11. 成績評価の基準と評定の方法	○成績評価の基準 1. 「文化」という概念についての理解を具体例を通し、説明できるようになったか。 2. 自分とは異なった背景を持つ他者について理解できるようになったか。 3. 自分自身の「文化」的背景への気づきを高め、「文化」がもたらす影響を意識できるようになったか。 4. 多文化理解を促進する態度や技能を身につけることができたか。 5. 多文化共生社会の実現のために自分ができるところを自分なりに考え意見をいえるようになったか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する 1 授業への積極的態度 総合点の 30% 2 試験（小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等） 総合点の 30% 3 提出課題（レポート等） 総合点の 40%		
12. 受講生へのメッセージ	1. 授業は事前学習を前提に行うため、必ず事前学習課題に取り組んで授業に臨むこと。 2. 授業で配布した全ての資料を毎回持参すること。 3. 異なる文化、多様な文化に積極的な興味を持つこと。 4. 日常生活や身近な出来事の中にある異文化接触と関連付けながら受講すること。 5. 講義内容を積極的に聴き、必要に応じて自身が振り返る際に理解できる言葉・表現でメモすること。 6. 自身の意見や考えについて積極的に発信していくこと。		
13. オフィスアワー	初回の講義内で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション: 授業の概要、授業の進め方、期末課題の確認、自己紹介	事前学習	シラバスを熟読する。
		事後学習	講義内容を振り返り、授業の進め方や講義ノートの作成について整理しておく。
第2回	文化とは何か①文化のモデル	事前学習	配布資料を読み内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことを講義ノートにまとめておく。
第3回	文化とは何か②文化の特徴	事前学習	配布資料を読み指定箇所に記入しておく。
		事後学習	授業で学んだことを講義ノートにまとめておく。
第4回	異文化適応	事前学習	配布資料を読み内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことを講義ノートにまとめておく。
第5回	異文化の認識	事前学習	配布資料を読み内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことを講義ノートにまとめておく。
第6回	異文化の障壁	事前学習	配布資料を読み内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことを講義ノートにまとめておく。

第 7 回	異文化受容	事前学習	配布資料を読み、内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことを講義ノートにまとめておく。
第 8 回	小テスト(第 1 回から第 7 回の内容) 期末課題の準備	事前学習	多文化共生に関する配布資料を参考にテーマを決め、期末課題の草案を作成し意見交換ができるようにしておく。
		事後学習	授業中に得たコメントをもとに課題の準備をすすめる。
第 9 回	日本における「多文化」	事前学習	配布資料を読み、内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことを講義ノートにまとめておく。
第 10 回	日本における「外国人」	事前学習	配布資料を読み、内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことを講義ノートにまとめておく。
第 11 回	「多文化共生」とは何か	事前学習	配布資料を読み、内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことを講義ノートにまとめておく。
第 12 回	多文化共生のための実践	事前学習	配布資料を読み、内容を把握しておく。
		事後学習	授業で学んだことを講義ノートにまとめておく。
第 13 回	個人発表①多文化共生への取り組みの事例報告	事前学習	発表準備をする。
		事後学習	発表のコメントを提出する。
第 14 回	個人発表②多文化共生への提言	事前学習	発表準備をする。
		事後学習	発表のコメントを提出する。
第 15 回	全体のまとめ 小テスト (9 回から 14 回の内容)	事前学習	既習内容について総復習し、疑問や不明な点がないか確認しておく。
		事後学習	授業全体のまとめを講義ノートに記録しておく。